

令和3年度福岡市食育推進会議 議事録

1 日 時：令和4年1月18日（火） 16：30～17：15

2 場 所：オンライン 及び エルガーラホール 中ホール

3 会議次第

- | |
|---------------------------------|
| 1 開会 |
| 2 議題
(1) 第4次福岡市食育推進計画（案）について |
| 3 閉会 |

4 出席委員：21名
（会場：5名、オンライン：16名）
欠席委員：7名

5 報道機関取材者及び傍聴者
報道機関：無 傍聴者：1名

6 議事内容

委員	自分の思いでは、毎年変わらない気がする。思い切って少し見方を変えていくべきだ。今回は間に合わなければ、来年に向けて変えていくべき。 数値目標だけがおどっており、具体的に市や地域も含め、どういったことを展開してこの目標を達成していくのか、具体策が見えない。食育に関心を持っている市民の割合を上げたいのは分かる。アンケートの結果はまだまだ知らないという方が多い。啓発や広報を充実させる。東区で貰った資料はその校区に素晴らしいものを出していた。各校区や、市で年に1回くらい冊子を作る。すべての人に届くように努力をする。朝食を取った方が良い、主食・主菜・副菜を取った方が良い、よく噛んでゆっくり食べたほうが健康に良いなど、伝わって
----	--

	<p>ない。伝わるツールがない。</p> <p>概要版 5 ページに関しては形ばかりかなと。学校給食への市内の農産物の利用割合は低い。夏場にレタスはない。米も福岡市内産では学校給食は足りていない。不作になると市農協さんも他の注文があるため市場で買わざるを得ないため、一気に数字が悪くなる。どれだけの供給キャパがあるのか、または市内での農産物を学校給食で使うから増やしていきたい。これは可能なのか、具体的な取り組みをもって数字を達成したいと形に変えていかなければならないが、長年出来ていない。</p> <p>もう一点は、学校給食といっても市民に分かりやすくお知らせする。市内にはこういう時期にこういうものがこれだけ採れています、と。この率は、市内産のお米の全量は学校給食には足りないので、県内産も使って発注している。出来る限り皆さんも一緒に広めていきましょう、作る方たちもどんどん作っていただけるようにしていきましょう、というお知らせをしていく。また、朝食をしっかりと食べること、なぜ食べたほうがいいのか、という朝食の大切さをお知らせする。(アンケート結果：小学校 6.6/中学校 7.9) 大切さを知らせなければ、アンケートを 0 にすることができない。大切さを啓発して数字を下げていく。メリハリを付けて、重点として取り組みたい部分とお知らせして知ってもらう部分を分ける。小児肥満の問題もあるため、食事はよく噛んでゆっくり食べるなど、具体的に目標に向けてどういう取り組みをするのか。今かけている啓発、ここは十年来変わってきていない。次の課題として、数値目標を達成したかではなく、達成するためにどのような取り組みやどのような情報発信をしていくのかを大きなテーマとしてあげていく。数字ばかりを追うのではなく具体策を出してほしい、メリハリをつけてほしい。そのためにどのような啓発方法をしていくのかをじっくりと考えるべき。冊子を作る、全員に届くように努力するなど、その結果が数字であるため、今後の課題としてあげてほしい。広報の在り方、重点項目、お知らせすべきもの、数字を示して皆さんへ啓発して協力してもらうもの考えた、食育推進計画になるようお願いしたい。それに向けての課題としてどう認識されているか、聞きたい。</p>
--	---

事務局	<p>本計画については、食育の総合的な計画として作成している。食は暮らしそのもので、非常に多くの分野に係わるため、基本的な国の計画に準拠しつつも、基本的な考えかた、取り組みの方向性などを理念的なところを示している計画となっている。したがって、指摘があったように、具体的な取り組みの記載がない部分もある。計画の中で重視すべき点は、基本の目標・取り組みの視点・17の項目を設けている目標値を重点的に推進していきたいと考えている。広報・啓発については、非常に大切だと認識している。様々な場面やSNSなどを使って訴求を図っていききたいと考えている。啓発に関しては、朝食を食べるのようなテーマを絞るなどして、効果的な広報を推進していく。</p>
委員	<p>目標値を達成していくではダメ。目標値を達成するために何をしていくのかが欠けている。広報が足りないではなく、この場で広報をどのようにしていくかを議論にしないとけない。数字だけ上げるのではなく、具体的にどのように啓発し、どういう戦略、どういうところをアピールして知ってもらい理解してもらうのか。私はそのためには広報だと思う。市民に行ってもらう分、行政が行う部分でお知らせする部分がちやごちやになっている。まずは目標値を決める、ではなく、目標値は決めているので具体的な中身について次回の会議で出していきたい。広報についても、今行っている広報や各国での取り組みを紹介し、今後足りない部分の冊子を年一にでも作り、市民・家庭に届くような努力、地域でもコピーして配りたいようなものを作る。七草粥はこういうもの、よく噛んで食べるとこんなに良いですよといった広報が全く欠けている。推進計画になっていない。賛同いたしかねる。欠けている部分を捉えて、広報に力を入れるなら、もっと具体的に次回会議にはお知らせ願いたい。どうやって小学生朝食の欠食する市民の割合6.6から0にするのか。6.6も不確か、これは答えた人の数字。答えてない人はもっと関心がない可能性が高い。関心があるのは半分くらいだろう。農業体験と言われても、学校で稲作体験をした家庭があるといった問題ではない。そもそもの機会を増やすとか、地域の行事で</p>

	<p>やるための講師とか体験できる方の結びつきを考える。全てにおいて絵に描いた餅になっているので、今後一步でも二歩でも前進するように頑張っていきたいという返事を期待していた。疑問である。</p>
<p>委員</p>	<p>委員の話の中で、学校給食の話があり、おっしゃる通りだと思う。福岡市内の農業生産物の福岡市民の160万人分のどれだけの胃袋を満たせるかという、5%未満。あとはみんな県内も含めて他の所から入ってきている。その中で、令和2年で24.5%市内産を使っているのはある意味驚異的な数字だと思う。30%以上が逆に言えばきついかなど。現実的にはたった5%の中から24%分を回しているところを理解してほしい。あとは量的な問題は、当然ない時期はないので、種類を増やす方法を考えているところ。食育に向けて取り組んでいきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>私は80代になっており、小さいときは4家族一緒だった。今は2人になっており、その時を考えると、高齢者がいることで食のおいしさがよく分かる。少し汁が辛いと言うと年長者がお湯をほんの少し入れるなど、食事の中でいろいろな勉強ができる。そういうようなことも考えて頂いた方が良いのかと思う。今の時代からすると、3~4家族が揃って食事をするのは大変だと思うが、雰囲気を作っていかなければいけない。これから先、家族を大事にしなければならない。コロナ禍という現状もある。そこに対応するためには、家族の中の食事、その中で色々と覚える。そういった時間的なことも必要だと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>本日いただいたご意見やご提案等の取り扱いについては、会長に一任していただくということで、よろしいか。</p> <p>(委員承認)</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、計画(案)を決定し、パブリックコメントの手続きを行うこととする。</p>

事務局	<p>パブリックコメントの手続きは3月実施予定である。 パブリックコメント行った後、そのご意見を踏まえ作成した最終案については、5月初めに書面等で報告させていただく。 以上をもって、令和3年度福岡市食育推進会議を終了とする。</p> <p style="text-align: right;">(終了)</p>
-----	---